

【会報】

日本熱測定学会第26回通常総会

日 時：1999年11月11日(木) 17:00～17:50

会 場：東京大学 山上会館

総会の成立

総会出席者は委任状(220通)を含め292名。正会員・学生会員総数(778名)の4分の1を越えるので、第26回通常総会は会則第17条により成立した。

1. 1999年度事業報告(1998.10.1～1999.9.30)

(1) 会員状況

	98.10.1	入会者	退会者	99.9.30
正会員	749	41	54	736
学生会員	45	11	14	42
維持会員	35(68)	3(3)	4(4)	34(67)

()内は維持会員口数

(2) 集会関係

- 1) 委員会1回(横浜1回), 幹事会5回(静岡1回, 東京4回), 庶務幹事会3回(東京3回), 会計幹事会2回(東京2回), 編集委員会5回(静岡1回, 東京4回), 企画幹事会2回(横浜1回, 東大阪1回), 選挙管理委員会1回(東京1回)
- 2) 第34回熱測定討論会(1998.10.28～30, 横浜市教育文化ホールおよび横浜市技能文化会館)
発表件数 口頭発表 86件, ポスター発表 44件, 特別講演 5件
企画「イブニングセッション」
参加者 289名
- 3) 第35回熱測定討論会実行委員会(東京, 計3回)
- 4) 第25回通常総会(1998.10.29, 横浜) 熱測定Vol.26, No.1(1999) p.23 参照
- 5) 第40回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1999.1.27～29, 横浜) 受講者 54名
- 6) 第41回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1999.8.4～6, 東大阪) 受講者 50名
- 7) 第42回熱測定講習会「医薬品開発と熱測定」(1999.9.3, 東京) 受講者 72名
- 8) 第43回熱測定講習会「微生物活性の熱測定による計測とその応用」(1999.9.20～21, 東京) 受講者 18名
- 9) 第29回熱測定ワークショップ「温度変調DSCをどう使

うか」(1998.12.5, 京都) 参加者 45名

- 9) 第30回熱測定ワークショップ「Recent Advances of Solution Thermodynamics」(1999.8.2, 東大阪) 参加者 29名
- 10) 講演会「Prof. Edgar F. Westrum, Jr. (Univ. of Michigan) 講演会」(1999.7.19, 東京) 参加者 40名

(3) 共催・協賛関係

- 共催：第19回熱物性シンポジウム(主催：日本熱物性学会, 1998.10.21～23, 福岡)
- 共催：The International Symposium on New Frontier of Thermal Studies of Materials(主催：東京工業大学 応用セラミックス研究所, 1998.10.26～27, 横浜)
- 協賛：1998年度大阪市立大学国際学術シンポジウム(主催：大阪市立大学, 1998.10.4～10, 大阪)
- 協賛：第5回界面シンポジウム(主催：日本学術会議, 1998.10.20, 東京)
- 協賛：第39回高圧討論会(主催：日本高圧力学会 1998.11.11～13, 岐阜)
- 協賛：1999年度炭素材料学会2月セミナー(主催：炭素材料学会, 1999.2.25, 東京)
- 協賛：第5回TG-MS研究会(主催：TG-MS研究会, 1999.4.28, 東大阪)
- 協賛：第10回食品ハイドロコロイドシンポジウム(主催：食品ハイドロコロイド研究会, 1999.5.26, 大阪)
- 協賛：日本熱物性学会創立20周年記念セミナー(主催：日本熱物性学会, 1999.6.25, 東京)
- 協賛：先端科学技術講習会'99-エネルギー貯蔵と炭素-(主催：炭素材料学会, 1999.7.21, 東京)
- 協賛：第43回粘土科学討論会(主催：日本粘土学会, 1999.9.16～17, 倉敷)
- 後援：第6回アジア学術会議-科学者フォーラム(主催：日本学術会議, 1999.3.11～13, 東京)

(4) 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の編集・発行(Vol.25, No.5～Vol.26, No.4 計346頁 各1200部)
内容：巻頭言1, 論文5, ノート2, 解説10, フロギストン19, レポート9, 会員のページ2, 幹事会のページ, 追悼, 会報, その他

(5) グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ(主査：前田洋治)
会誌「熱測定応用研究の頁」に協力
- 2) 熱力学データベース作業グループ(主査：山内 繁)
1999年度をもって、熱力学データベース作業グループ

は当学会のグループとしての活動を終え、2000年度より当学会より独立したグループ（仮称 熱力学データベースWG）として活動することになった。

サブグループ分圧制御ソフト開発作業グループ（世話人：脇原将孝）99年度で活動を終了する

3) 標準化作業グループ（主査：吉田博久）

(6) 国際協力

IUPAC：徂徠道夫（阪大）I.2 化学熱力学委員会

ICTAC：小沢丈夫（千葉工大）前会長

吉田博久（都立大）理事

(7) 第2回国際および第4回日中合同熱測定シンポジウム (CATS-99)

(1999.6.1～3) つくば工業技術院共用講堂, 委員長 中村茂夫

発表件数 特別講演 2件, 口頭発表 52件, ポスター発表 60件

参加者国内 85名 (留学生 4名), 海外 33名

熱測定 Vol.26, No.3 (1999) p.111 参照

2. 1999年度決算 (1998.10.1～1999.9.30)

	予 算	決 算
収 入	11,430,916	10,606,821
(1) 会費収入	5,245,000	5,040,000
正会員会費 750名	3,750,000	3,575,000
学生会費 45名	135,000	105,000
維持会員会費 68口	1,360,000	1,360,000
(2) 事業収入	5,220,000	4,507,147
会誌発行収入	2,550,000	2,331,418
広告料	2,000,000	1,782,900
別刷代金	300,000	303,618
購読料	250,000	244,900
34回討論会収入	300,000	300,000
40～43回講習会収入	1,800,000	1,513,124
名簿発行収入	500,000	283,500
出版印税	70,000	0
CATS-99収入	0	79,105
(3) 雑収入	100,000	193,758
(4) 前年度繰越し	865,916	865,916

支 出	11,430,916	10,455,858
(1) 事業費	6,590,000	5,971,302
会誌発行費	5,500,000	5,004,600
印刷		2,064,215
編集		1,883,700
別刷印刷		230,181
原稿料		285,429
発送費		541,075
研究グループ	120,000	23,100
WS・講演会	150,000	123,829
35回討論会準備金	200,000	200,000
国際協力費	20,000	10,870
CATS-99準備金	100,000	100,000
名簿発行費	500,000	508,903
(2) 管理費	4,118,000	4,099,545
会議費	400,000	283,870
交通費	900,000	993,000
事務局費	2,268,000	2,268,000
通信費	300,000	288,255
消耗品費	150,000	149,187
雑費	100,000	117,228
(3) 予備費	722,916	385,011

次期繰越金 0 150,963

1999年度特別会計

熱測定特別基金	6,378,760
定期利息	15,457
熱測定特別基金	6,394,217

3. 2000 年度役員 (1999.10.1 ~ 2000.9.30)

○印 2000 年度・2001 年度役員

会 長

○徂徠 道夫 (阪大院理)

委 員

○荒殿 誠 (九大院理)

石村 美雪 (生命工研)

板垣乙未生 (東北大素材研)

○江間 健司 (東工大理)

大島 民夫 (真空理工)

○片山 巖 (阪大院工)

金成 克彦 (電総研)

北岡 宏章 (第一製薬)

北村 進一 (京都府立大農)

木下 良一 (セイコーインスツルメンツ)

○古賀 邦正 (東海大学開発工)

○小島 誠治 (筑波大物理)

齋藤 英樹 (埼玉大理)

佐藤 博明 (理学電機)

○嶋田 志郎 (北大院工)

○高橋 正人 (信州大繊維)

滝山 欣邦 (マックスサイエンス)

堤 健児 (東京理工)

東條 壮男 (東工大応セラ研)

○戸田 昭彦 (広島大総合科学)

長尾 眞彦 (岡山大理)

西野 孝二 (島津製作所)

増田 芳男 (新潟大理)

松井 恒雄 (名大院工)

○宮崎 裕司 (阪大院理)

○三宅 淳巳 (横浜国大工)

山根 常幸 (東レリサーチセンター)

○山村 泰久 (北陸先端大)

山脇 道夫 (東大院工)

会計監査

○村上 幸夫 (東京電機大フロンティア研)

幹 事

○北岡 宏章 (企画, 第一製薬(株) 代謝分析研)

○城所 俊一 (会計, 長岡技術科大生物)

猿山 靖夫 (企画, 京都工繊大繊維)

○田中 晶善 (企画, 三重大生物資源)

○中村 邦雄 (編集, 大妻女子大家政)

中山 春夫 (会計, 横浜国立大)

畠山 立子 (企画, 大妻女子大家政)

○八田 一郎 (編集, 名大院工)

○花屋 実 (庶務, 東工大院理工)

横川 晴美 (庶務, 物質工研)

編集委員

○八田 一郎 (名大院工)「物理」幹事, 委員長

○中村 邦雄 (大妻女子大家政)「天然高分子」幹事

○石切山一彦 (東レリサーチセンター)「熱分析」

熱測定応用研究グループ主査

○川路 均 (東工大応セラ研)「化学」

○齋藤 喜康 (電総研)「電気化学」

前田 洋治 (物質工研)「高圧」

○森川 淳子 (東工大院理工)「複合材料」

地域編集委員

北海道 土田 猛 (北大院工)

東 北 板垣乙未生 (東北大素材研)

○信 越 高橋 正人 (信州大繊維)

○中 部 前田 康久 (豊橋技科大物質工学)

○中 国 戸田 昭彦 (広島大総合科学)

四 国 武田 清 (鳴門教育大自然)

○九 州 荒殿 誠 (九大院理)

4. 2000 年度事業計画 (1999.10.1 ~ 2000.9.30)

(1) 集会関係

- 1) 委員会 1 回 (東京), 幹事会 5 回 (東京 5 回), 庶務幹事会 3 回 (東京 3 回), 編集委員会 5 回 (東京 5 回), 会計幹事会 1 回 (東京 1 回), 企画幹事会 2 回 (東京 1 回, 大阪 1 回)
- 2) 第35 回熱測定討論会 (1999.11.10 ~ 12, 東京)
- 3) 第35 回熱測定討論会実行委員会 (東京)
第36 回熱測定討論会は2000.11.9 ~ 11, 東大阪 (実行委員長: 高木定夫) で開催予定
- 4) 第37 回熱測定討論会の準備
熱物性シンポジウムとのジョイントを仙台で開催すべく準備中
- 5) 第26 回通常総会 (1999.11.11, 東京)
- 6) 第44 回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(2000.2.14-17のうちの3日間, 東京)
- 7) 第45 回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(2000.7., 大阪)
- 8) ワークショップ テーマ・オーガナイザー募集
- 9) 講演会 テーマ・オーガナイザー募集

(2) 共催・協賛関係

- 共催: 第20 回熱物性シンポジウム (主催: 日本熱物性学会, 1999.10.20 ~ 22, 東京)
- 協賛: 第20 回炭素材料基礎講習会 (主催: 炭素材料学会, 1999.10.28, 東京)
- 協賛: 第40 回高圧討論会 (主催: 日本高圧力学会, 1999.11.10 ~ 12, 福岡)
- 協賛: 日本表面科学会第3 回国際シンポジウム (主催: 日本表面科学会, 1999.11.29 ~ 12.1, 東京)
- 協賛: 第14 回「大学と科学」公開シンポジウム (主催: 第14 回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会, 1999.11.29 ~ 12.1, 東京)
- 協賛: 日本学術会議50 周年記念第6 回界面シンポジウム『先端デバイスの進展と界面制御』(主催: 日本学術会議化学研究連絡委員会ほか, 1999.12.10, 東京)
- 協賛: International Symposium on Physical Basis of Adsorption (Post Symposium of International Conference on Colloid and Interface Science (主催: 日本化学会コロイドおよび界面化学部会, 2000.11.10 ~ 11, 岡山)

上記は総会開催日までに申請が届いているもの。

例年にしたがって決定する。

(3) 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行 (Vol.25, No.5 ~ Vol.26, No.4 各 1,200 部)
- 2) その他の出版

(4) グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ (主査: 石切山一彦)
定期会合 2 回, 見学会 1 回, 会誌「熱測定応用研究の頁」に協力
- 2) 標準化作業グループ (主査: 吉田博久)

(5) 国際協力

- IUPAC: 徂徠道夫 (阪大) I.2 化学熱力学委員会
ICTAC: 小沢丈夫 (千葉工大) 前会長
吉田博久 (都立大) 理事
Calorimetry Conference, Board of Directors: 阿竹 徹 (東工大)

5. 2000 年度 予算 (1999.10.1 ~ 2000.9.30)

項目		
収入		9,945,963
(1) 会費収入		5,185,000
正会員会費	750 名	3,750,000
学生会費	45 名	135,000
維持会費	65 口	1,300,000
(2) 事業収入		4,460,000
会誌発行収入		2,550,000
広告料		2,000,000
別刷代金		300,000
購読料		250,000
35 回討論会収入		200,000
講習会収入		1,500,000
出版印税		210,000
(3) 雑収入		150,000
(4) 繰越金		150,963
支出		9,945,963
(1) 事業費		5,420,000
会誌発行費		5,000,000
(編集費, 印刷費, 別刷, 原稿料, 発送費)		
研究グループ		50,000
WS・講演会		150,000
36 回討論会準備金		200,000
国際協力費		20,000
(2) 管理費		4,338,000
会議費		400,000
交通費		900,000
事務局費		2,268,000
HP 管理費		170,000
通信費		300,000
消耗品費		200,000
雑費		100,000
(3) 予備費		187,963
差し引き		0

2000 年度特別会計 熱測定特別基金 6,394,217 円

6. 会則改正の件

名誉会員をおくための会則改正案が可決された。

提案理由：本会の発展・運営にとって特に功績のあった会員に本会として感謝の意を表すことができるようになるため。

改正点：

1. 現行の会則第5条を次のように改める。
第5条 会員は、正会員、学生会員、維持会員、名誉会員の4種とする。
2. 現行の会則第7条のあとに次の第8条を挿入する。
第8条 名誉会員は以下の各号の1以上に該当し、幹事会の推薦のもとに総会で承認された者である。名誉会員の会費はこれを免除する。
 1. 本会の発展にとくに功績のあった者。
 2. その他、総会がとくに認めた者。
3. 現行の第8条以降の各条を1条送りにする。
4. 現行の会則第11条（新会則第12条）を次のように改める。
正会員 年額 5,000円
学生会員 年額 3,000円
維持会員 年額 20,000円（1口以上）
名誉会員 免除
5. 細則に以下の項目を追加する。
5. 名誉会員の推薦基準
 - ・会長経験者またはそれに準じる功績のあった者
 - ・75歳以上（推薦時に会員であることを要しない）
 - ・会費納入期間20年以上
 ただし、特別の事情がある場合はこの限りではない。

7. その他

幹事会を代表して高橋洋一前会長から、関集三、神戸博太郎、森本哲雄、土屋亮吉、近藤良夫の5氏を名誉会員に推薦する提案がなされ、満場一致で承認された。